



学校だより
ながや

令和元年度 第13号
令和3年 2月26日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

「ありがとうの会」を終えて

校長 平野 好子

日に日に、あたたかな日差しとなってきました。いよいよ3月を迎えます。

2月24日(水)に5年生が中心となり、「ありがとうの会」が行われました。1~5年生は、6年生の卒業を祝い、これまでお世話になったことへの感謝の気持ちを表し、また、6年生は、小学校生活を振り返り、下級生へ思いやりの気持ちを深めながら楽しい思い出とするという会です。回数等を縮小しながらも、感染症拡大防止を考えながら取り組んで来たなかよし活動の班の教室で行いました。

6年生への招待状の文章は2年生が書き、絵や色塗りは1年生が行い、5年生が表紙に名前を書き仕上げました。3年生はメダルを、2年生はメッセージカードをプレゼントし、4年生が輪飾り・お花をつくり、教室を飾りました。4・5年生が会で行うゲームの内容・ルール・担当を考え、班ごとに会の流れの確認を行い準備しました。次年度最高学年の5年生は、司会等の会の運営を積極的に行い、6年生に感謝の言葉を伝えました。6年生は、5年生にエールを送り、在校生に会を開いてくれたことへの感謝を伝え、どの教室もあたたかい空気に包まれていました。

会に取り組むそれぞれの学年の子どもたちの姿から、一人ひとりのこの1年間での成長を感じました。めあてをもって取り組み、自分の仕事に自信をもって参加していました。6年生へ感謝の気持ちをもって、卒業を笑顔で祝う姿も多くの場面で見られ、大変うれしく思いました。

この1年間、仲間とともに日々を過ごす中で、互いの思いが伝わらずに悲しい思いをしたり、思うように事が進まず悔しい思いをしたりしたこともあったでしょう。また、物事をなし終えて大きな達成感を味わったり、自分に向けられた優しさを感じあたたかな気持ちになったりしたこともあったことと思います。子どもたちは、多くの思い出とともに成長してきました。学校は、学びの場だと改めて感じています。

豊かなコミュニケーション力にもつながる「あいさつ」を今年も大切にしてきました。

今年度は、各教室で朝の健康観察を行うことで、昨年まで担任も交代で行っていた毎朝の門でのあいさつは、一手に校長と専任が担うこととなりました。私は主に正門を担当しましたので、ほぼ全員とあいさつを交わすことができました。子どもたちとあいさつをすることで、その日の登校の表情や様子から、その日の体調をうかがい知ることができました。朝、子どもたちとかわすあいさつが、今日もがんばろうという私の一日の活力の源になったことは、今年度、テレビ朝会でも何度も話してきました。

今月、6年生は小学校課程を修了し、卒業します。1年生から5年生は、4月にそれぞれ進級します。そして、新しい1年生を迎えます。

教職員一同、この目指す子ども像の具現化に向けて、教育活動に取り組んでまいりました。今年度も保護者や地域の皆様には、多くの場面でお力添えをいただき、感謝いたします。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応につきましても、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

来年度も変わらぬご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。